

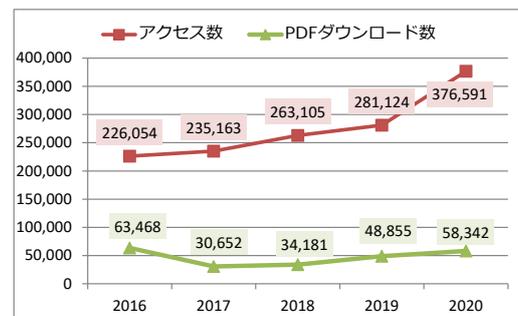
科学研究費助成事業 研究成果公開促進費 国際情報発信強化（平成30（2018）年度採択分）  
「オープンアクセスジャーナルAHCの国際標準化による国際展開力の強化および形態学関連学会との連携」（課題番号：18HP2003）

学術団体名：日本組織細胞化学会  
学術刊行物の名称：Acta Histochemica et Cytochemica  
事業期間：平成30（2018）年度～令和4（2022）年度

## 1 取組の概要

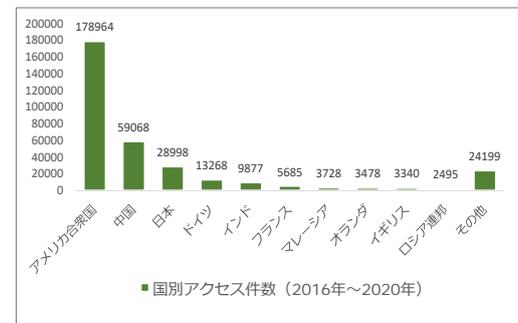
### ・取組内容の特徴と目的、意義及び方法

日本組織細胞化学会の英文機関誌である *Acta Histochemica et Cytochemica* (AHC) は、PubMed Central に掲載され、J-STAGE での完全なオープンアクセス刊行による国際発信力を強化してきた。本事業では、国際標準のインターフェイスへの刷新や他の形態科学系ジャーナルとの連携による形態科学系 Web ポータルサイトの構築により、海外研究者に対する情報発信を強化し、広く世界から良質な論文を募り、我が国を代表する組織細胞化学分野の一流ジャーナルとしての確固たる地位を築くことを目的とする。



### ・応募時に設定した取組の目標・評価指標

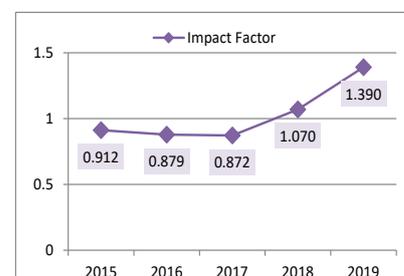
- AHCWebサイトの刷新による国際標準のインターフェイスの整備並びに、形態科学系ジャーナルとの連携によるWebポータルサイトの構築による海外からの投稿数の増加（3年目20件、5年目25件）及び海外論文採択率の向上（3年目に35%、5年目に40%）。
- インパクトファクター（IF）値の向上（3年目1.5、5年目2.0）。
- 国際学会での広報活動強化と海外審査員の増加（2年目15名、6年後20名）。



## 2 目標の達成状況

### ・現在までの目標の達成状況

- 2019年1月にAHCの新Webサイトを公開した。また国際標準のオンライン投稿審査システムであるEditorial Managerを2020年4月から本格運用を開始した。日本臨床分子形態学会発行のMedical Molecular Morphology (MMM) と形態科学系ジャーナルWebポータルサイトを構築した。2020年の論文アクセス（376,591件：年間換算約502,000件）、PDFダウンロード（58,342件：年間換算約78,000件）、及び海外からの投稿数は、2018年25件、2019年27件、2020年9月時点23件（年間換算30件）と順調に増加している。一方、海外からの論文採択率は、2018年8%（2件）、2019年0%、2020年9月時点10%（2件）で、より質の高い論文の海外からの投稿促進のため、海外情報発信の強化を行う必要がある。
- IF値は、2017年0.872、2018年1.070、2019年1.390とほぼ順調に上昇している。
- 2019年に第13回日中合同組織細胞化学セミナー（神戸市）においてAHC広報活動を行い、海外審査員も2020年に14名とほぼ順調に増加している。



### ・今後の計画

- AHCのWebサイトを適宜更新するとともに、国内の他の形態科学系ジャーナルとの連携を進め形態科学系Webポータルサイトを発展させ、引き続き海外投稿数の維持（年間30件）と海外論文採択率の向上（年間40%）を目指す。
- 日本組織細胞化学会での優秀演題や海外審査員に積極的に論文投稿や総説執筆を依頼し、IF値を2.0以上に保つ。
- 日中合同組織細胞化学セミナーの継続と国際組織細胞化学会議等でのAHCの広報活動をさらに強力に進める。